

## 道徳の時間学習指導案

東広島市立三ツ城小学校

教諭 佐々木 夕子

- 1 日 時 平成 26 年 7 月 2 日
- 2 学 年 第 5 学年 2 組 男 18 人 女子 15 人 計 33 人
- 3 主題名 公正公平な態度で 4 - ( 2 ) 公正公平, 正義
- 4 資料名 「笑ちゃん」(自作資料)
- 5 ねらい 友達の陰口を聞いた「私」がどうするべきかを考えさせることを通して, だれに対しても偏見をもたず公正公平に接することの大切さに気付き, 正義の実現に努めようとする態度を育てる。
- 6 主題設定の理由
  - 主題は, 小学校学習指導要領解説道徳編の高学年内容項目 4 - ( 2 ) 「公正公平, 正義」を基に設定した。公正, 公平にすることは, 私心にとらわれず誰にも分け隔てなく接し, 偏ったものの見方や考え方を避け, 社会的な平等が図られるようにふるまうことである。しかし, この時期の児童は, 自分と対等な立場にある第三者を意図的に低い立場に置くことで自分が優位な立場に立って優越感を得たり, 他の友達との仲間関係を強めようとしたりすることがある。その際, 多くの人たちと違う考え方や価値観をもったり, 違う行動をとったりする第三者に偏見を抱き, 不平等な態度をとることが多い。このような段階にある児童にとって, 自分たちの日常生活で見られがちな差別や偏見に気付かせ, 自他の不正や不公平を許さない断固とした姿勢をもち, 自分の良心に従って公正, 公平にふるまおうとする態度を養うことは重要であると考える。
  - 本学級の児童は, 明るく活発で素直である。ほとんどの児童が, 誰とグループになっても協力し合いながら, 前向きに学習に取り組む姿が見られる。<略>質問紙調査によると, 「誰に対しても同じような態度で接している」の問いに肯定的に答えた児童の割合は〇%と非常に高い。しかし, 「どの友達でも良さを見付けられる」と答えた児童の割合は〇%である。また, 不正や不公平な態度をとっている友達に対して「注意する」と答えた児童は〇%であるが, 「仲のいい友達に対しても注意する」という児童の割合は〇%と前者のポイントを下回っている。これらのことから, 公正公平に対する自己評価は高いが, 普段の何気ない態度や友達に対する意識の中には差別や偏見の芽は潜んでおり, そのことに気付いている児童はまだ少ないといえる。
  - 本資料は児童の日常生活が舞台になっており, 友達の偏見と不公平な言動に対して違和感を抱きながらも, どうしたらいいかと迷う主人公の葛藤が描かれている。葛藤する要因として, 主人公は陰口を言われている友達の良さを認識しているにもかかわらず, この友達がいわれのない偏見をもたれていることが挙げられる。それはいけないことであり, 注意をするべきだと分かっているが, 相手の性格や複数人であることを考えると, 注意をするのをためらってしまう。これは, 自分が仲間外れにされたくないという利己的な心情からくるものであり, この時期の児童がよく経験する心情でもある。本資料は, 児童が主人公と自分を重ね合わせ, 主体的に学習に取り組む過程で自己を見つめなおし, 自他の偏見や差別をなくしていこうとする態度を養うことができる資料である。
  - 指導に当たっては, 問題解決型の道徳の時間の授業の設定することで, 児童が主体的に道徳的問題の解決を図ることができるようにする。この過程において根拠を明らかにする発問や, 「もし, 自分が仲間外れにされても注意をした方がいいのでしょうか。」と前提条件を変えた発問を行うことで, 道徳的価値の本質について考えを深めさせる。また, 展開後段においてモラルスキルトレーニングを取り入れることで, 注意される方の立場にも立った注意の仕方を考えさせ, 正義を貫くとともに, 不正を正そうとする態度を育成する。これらのスキルを練習させることで, 「自分にもできる。」「やれそうだ。」「やってみよう。」という道徳的態度を育成し, 公正公平のよさや大切さを実感させ, 道徳的行為に移すための内面的資質を養う。

7 学習指導過程

段階	学習活動	主な発問と予想される児童の心の動き	指導上の留意点
導入	1 ねらいとする道徳的価値にふれる。	○「私たちの道徳」(高学年 p.132)の写真を見ましよう。どんな人がいますか。 ○文章を読んでみましょう。	・ねらいとする道徳的価値を意識させるために、「私たちの道徳」の写真と文章を紹介する。
展開 前 段	2 資料「笑ちゃん」を読んで話し合う。  (1) 道徳的問題に気づき、課題をもつ。  (2) 登場人物の心情を基に、解決策を吟味する。 (個人)  (全体)	○このお話の中で、何が問題なのでしょう。 ・笑ちゃんは何も悪いことをしていないのに、悪口を言っていること。 ・本人のいないところでこそそこそ悪口を言っていること。 ・悪口を広めていること。 ・「私」が沙紀ちゃんたちに注意すればいいのに、しなかったこと。  ○「私」は、どうしたらよいのでしょうか。ワークシートに解決策を書いてみましょう。書けるところには、解決策を考えた理由と、その結果の長所(○)、短所(△)を書き込みましょう。  ○解決策を発表し合って、それぞれについて長所と短所を考えてみましょう。 ・注意をする。 ・その場を離れる。 ・笑ちゃんの良さを伝える。 ・笑ちゃんと仲良くする。  ア) 注意する。 ○「私」は、正しいことをしてすっきりする。 ○陰口を言わなくなる。 △陰口をやめてくれないかもしれない。 △「私」まで陰口を言われるかもしれない。 △沙紀ちゃんたちは、ムカつくかもしれない。  イ) 注意しない。 ○「私」は悪口を言われなくてすむ。 △悪口をやめない。 △ますます偏見が広がる。 △「私」は注意できないから、モヤモヤする。  ウ) 笑ちゃんの良さを教えてあげる。 ○笑ちゃんのことを見直してくれるかもしれない。 ○「私」は、言いたいことが言えてすっきりする。 △「私」も陰口を言われそう。	・資料に含まれる道徳的問題に気付かせる。  ・多様な視点から道徳的価値について考えられるよう、解決策をできるだけたくさん挙げさせる。 ・意見に根拠をもたせるために、1か所でも書き込むように声かけをする。 ・根拠を明確にするために、解決策を発表した後、必ず理由を説明させる。  ・解決策の長所と短所を視覚的に捉えやすくするために、色分けして板書をする。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center; background-color: #e0e0e0; margin: 0;"><b>解決策の吟味を促す発問の工夫</b></p> <p>○もし、「私」が悪口を言われたり仲間外れにされたりしても、注意したり教えてあげたりした方がいいのでしょうか。</p> <p>○もし、注意しないでそのままにしていたら、どうなるでしょう。</p> <p>○注意しなくても、「私」には関係ないのではないですか。</p> <p>○自分が沙紀ちゃんでも、注意してほしいですか。</p> <p>○どうすることが一番よいでしょう。</p> </div>		○どうすることが一番よいのでしょうか。 ・注意すること。 ・沙紀ちゃんたちが納得できるような注意の仕方をする。	・みんなにとってよりよい解決策を考えさせる。

<p>展開後段</p> <p>見通し</p> <p>自信・意欲</p>	<p>3 話し合いを基に、モラルスキルトレーニングを行う。</p> <p>(1) 全体シェアリングを行い、行動化のイメージをもつ。</p> <p>(2) ロールプレイングとペアシェアリングを行う。</p>	<p><b>モラルスキルトレーニングの工夫</b></p> <p>○沙紀ちゃんが納得できるように注意するには、どうすればよいのでしょうか。</p> <p>◇表情は ・真剣 ・優しい顔</p> <p>◇話し方は ・優しい声 ・責めない</p> <p>・ゆっくり ・落ち着いて</p> <p>・「私は～思うよ。」という言い方</p> <p>◇伝えたい内容は</p> <p>・笑ちゃんのよさ</p> <p>・陰口はいけない</p> <p>◇態度は ・責めずに落ち着いて</p> <p>・いきなり「ダメ。」とは言わない</p> <p>○ペアになって、相手が納得するような注意の仕方を実際にやってみた後で、注意をして感じたこと、注意をされて感じたことやアドバイスなどを話し合いましょう。</p> <p>・「相手の気持ちを考えてみて。」という言葉が心に響いたよ。</p> <p>・真剣に言われると、真剣に聞こうという気持ちになったよ。</p> <p>・注意するのは勇気があるけど、言えたらすっきりするね。</p> <p>・大事なことを短い言葉で伝えるといいね。</p> <p>○今度はペアを変えてやってみましょう。終わったら、ペアシェアリングをしましょう。</p> <p>(3回以上、ペアを変えてロールプレイングとシェアリングを行う。)</p>	<p>・「相手が納得できる注意の仕方」をめざす姿として提示し、めあてをもたせる。</p> <p>・行為の根底にある内面に気付かせるために、その行為を行う理由を明確にさせる。</p> <p>・様々な視点から内面に気付くことができるよう、立場を入れ替えながら行わせる。</p> <p>・実践に向けての意欲をもたせるために、肯定的評価をさせる。</p> <p>・内面と行為を関連させるために、行為のどういうところが良かったのか、なぜ良かったのか、気持ちを表す言葉を入れながら感想を言わせる。(アドバイスの時も同じ)</p> <p>・望ましい行為を強化するために、手本にしたい行為や全体に共有させたい内容は、必要に応じて全体で確認する。</p>
<p>終末</p>	<p>4 学習のまとめをする。</p> <p>学習を振り返り、道徳的価値の自覚を深める。</p>	<p>○今日の学習を振り返ってみましょう。</p>	<p>・道徳的価値の自覚を深めるために、問題解決の話合いやモラルスキルトレーニングを通して感じたことや分かったことなどを自由に書かせる。</p>

8 板書計画

笑ちゃん

問題

- かげで悪口
- 本当かどうか分からないこと
- 悪口を広げている
- 私は注意をしていない

解決策	理由	結果
その場を はなれ	いけな 分かって ど、注 から、 注意し が悪口 そうだ	○自分 われな △笑 は広 △気 りし
笑ちゃん の良さ を教 げる。	笑ちゃん を知 ちゃん え直 かも けれ	○悪口 △や △笑 だから 悪口 う。
もし、注 嫌なク 注意し 正しく みんな 嫌な気	笑ちゃん の良 を教 げる。	○「私 は、少 す。

○かげで悪口

○本当かどうか分からないこと

○悪口を広げている

○私は注意をしていない

相手は納得できるような注意

表情・話しかけ方・真剣

内容・笑ちゃんのよさ

かげ口はやめよう

落ち着いて責めない

ゆっくり

○気持ちがスッキリ

○自分に自信

○みんなが気持ちいい

もし、注意しなかったら・・・

嫌なクラス

注意したら正しく

みんなが嫌な気持ち

## 「笑ちゃん」 4－(2) 公正公平, 正義

私のクラスに転入生が来た。名前は笑ちゃん。お父さんの仕事の関係で、大阪から引っ越してきた。笑ちゃんは大人しい子だった。自己紹介でも

「よろしくお願いします。」

と関西なまりの小さな声でぼつりと言っただけ。最初のうちは、いろんな友達が笑ちゃんに声をかけていたけど、だんだん、笑ちゃんに話しかける友達も少なくなっていく。

そんなある日、うわさ好きな沙紀ちゃんとそのグループの友達が私に話しかけてきた。

「ねえねえ、笑ちゃんって、何考えているか分からないよね。」

「えっ？」

私は、何と答えていいか分からなかった。

「この前なんか、私、にらまれたんだから。」

「えーっ！いやね〜。」

でも、私には、笑ちゃんが沙紀ちゃんをにらむなんて信じられなかった。笑ちゃんは、口数は少ないけど、誰かが困っていると、いつも小さな声で

「大丈夫？」

「どうしたの？」

と優しく声をかけている。そんな笑ちゃんが、沙紀ちゃんたちをにらむなんて、ありえない。沙紀ちゃんたちの勘違いなんじゃないかなあ……。私が戸惑っていると、沙紀ちゃんたちが、

「笑ちゃんに近づくと、こっちまで暗くなっちゃう気がしない？」

「うん、うん。そうだよね。」

「それに、言葉も変だよ。何、あの言い方！」

そう言うと、沙紀ちゃんたちは、笑ちゃんの大阪弁をふざけて真似た。

「あはははは……。」

沙紀ちゃんたちの陰口は盛り上がり、どんどん広がっていくようだった。

私は……だまっただま、下を向いた。